

福田 佳則 議員
公明党



安全対策

自転車ヘルメット購入費助成に向けた取組は

議員 改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。自転車利用者の命を守る大切な用具であるヘルメットの購入費助成に向け取り組むべきでは。

現状を把握し、適切な対応へつなげていく

市 全国的に自転車に関する事故の割合が高くなっており、安全面において着用率の向上は必要不可欠であると考えている。ヘルメット着用の啓発を兼ねてアンケート調査を早急に実施し、調査結果を関係機関と情報共有した上で、連携しながら購入費助成の適切な対応へつなげていく。(森市長)

他の質問 ●住民主体の地域づくり活動の取組について 他1件

井上 昭吾 議員
無党派



シティセールス

東京都港区から全国に、三田市の魅力発信を

議員 東京都港区の「港区と全国をつなぐコーナー」に三田市の観光チラシ等を設置しているが、さらに無料貸し出しのイベントスペースを活用し、特産品や観光資源を全国に売り込むことにより、知名度を上げ、関係人口を創出すべきだと考えるがどうか。

民間事業者等と連携し、取組を進める

市 他自治体と連携し相互利益を目的に交流を行うことは、地域活性化に有効な手法である。イベントスペースの活用についても、市ホームページ等を通じて商圏拡大へチャレンジする事業者を募るとともに、三田市観光協会へも活用の働きかけを行っている。(森市長)

他の質問 ●スケートボード等のアーバンスポーツ施設の設置について 他3件

長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



安全対策

踏切内に点字ブロックの設置を

議員 視覚障害者の事故を未然に防ぐために、目の不自由な方自身が踏切の中にいるのか、外にいるのかを安全かつ確実に把握できる仕組みを作る必要がある。JR、神戸電鉄の踏切内に点字ブロックを設置すべきであると考えているがどうか。

踏切部の安全対策実施に向けた協議を進める

市 道路上における踏切部の安全対策は重要であり、視覚障害者も含めた市民の踏切内での事故防止や安全確保の観点から、早急に障害者団体の意見も伺いながら、対策が必要な踏切を検討し、鉄道事業者と安全対策実施に向けた協議を進めていく。(森市長)

他の質問 ●マンション管理適正化について ●アスベスト調査及び除去について 他1件

中田 哲 議員
新政みらい



福祉

福祉事業者の送迎業務の集約・共同運営化を

議員 労働力の減少により運転者不足が深刻化し、福祉事業者等の送迎業務の負担が大きくなっている。複数事業者の送迎業務を集約・共同運営化してデジタル技術を取り入れることで、全体最適化を実現するシェアサービスを作ってはどうか。

課題解決に向け、先進地の取組を調査研究する

市 集約・共同運営化により、職員の負担や送迎コストの削減、サービスの質の向上、さらには環境負荷の低減にもつながる可能性がある。個々のニーズの調整に課題はあるが、デジタル技術を活用した交通施策の観点からも先進地の取組を調査研究していく。(森市長)

他の質問 ●地域新電力会社設立と脱炭素先行地域の選定について 他1件

肥後 淳三 議員
市民の会



環境

市民との協働でオオキンケイギクの駆除を

議員 特定外来生物のオオキンケイギクは、河川敷や道路で繁殖が拡大しており、市民が誤って自宅の庭に移植している事例もある。啓発も兼ねて市民との協働で駆除活動を行っては。

市民との駆除活動を実施し、周知を図る

市 オオキンケイギクは生命力が強く市内でも広範囲に確認されている。駆除は毎年根気よく続ける必要があることなどをホームページや広報誌等で情報提供するとともに、自治会等を通じて個人宅での栽培は駆除を依頼する。また、令和6年からは開花時期の5月頃に合わせ市民との協働で駆除活動を行うことにより、周知を図る。(本まちの再生部参事)

他の質問 ●視覚障害のあるランナーの練習施設の安心・安全について 他2件

林 政徳 議員
無党派



地域活性

アウトドア交流都市に向けた取組を

議員 大阪・関西万博効果を県内に取り込む「ひょうごフィールドパビリオン」の取組がSDGsモデル事業に採択され、その体験型プログラムとして千丈寺湖畔再生プロジェクトが認定されたが、今後の展開は。

体験型プログラムの準備と拡充に取り組む

市 大阪・関西万博は、三田市へ多くの来訪者呼び込める機会と考えており、千丈寺湖畔再生プロジェクトに向けたアウトドア施設誘致のためのサウンディング調査と体験型プログラムの準備を進める。また、市内の魅力ある地域資源の活用に向け、市全体へ取組を広げていく。(森市長)

他の質問 ●三田市フラワータウン再生ビジョンについて 他1件

幸田 安司 議員
盟政会



福祉

高齢者や障害のある人のごみ出し支援を

議員 高齢者や障害のある人の生活支援として、自宅の玄関先までごみの収集に伺う福祉収集が全国的に広まっており、近隣市でも行われているが三田市では行われていない。福祉収集は独居高齢者等の安否確認にもつながり、公助での取組が必要であると考えているが、市の見解を伺う。

先進地の事例を参考に検討を進める

市 今後の高齢化の進展に伴い、ごみ出しが困難な独居高齢者等の増加が見込まれるため、安否確認も含めた戸別収集に向け、先進地である阪神間の事例も参考に、具体的な検討を進めていく。なお、自助、共助活動を尊重し維持するため自己負担の導入も考える。(森市長)

他の質問 ●三田市の市街地の公園整備と管理について

今北 義明 議員
盟政会



市民病院

再編統合に係る事務的な協約等の締結は

議員 令和7年度から現市民病院に指定管理者制度を導入するにあたり、三田市民病院事業の設置等に関する条例の改正など、さまざまな準備を進める必要があるが、今後の進め方について、市の見解を伺う。

済生会兵庫県病院と連携し、医療提供体制を検討

市 有識者や両病院の医療現場の職員で構成する統合協議会を設置し、基本理念や医療機能、経営等の検討を進める。また、現市民病院への指定管理者制度導入について、令和5年9月定例会において病院事業の設置等に関する条例の改正案等を提案する。(森市長)

他の質問 ●医療受診にかかる諸問題と健康づくりについて 他2件